

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標6_地球環境・生活環境・上下水道】

施策 6-2_生活環境の保全と調和

基本計画		事業番号	細事業名称
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_01	環境調査事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_02	水質監視事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_03	大気監視事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04138_01	浄化槽設置整備事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04260_01	猫不妊・去勢手術補助事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	07019_01	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	00370_01	墓園関連施設整備事業
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04033_01	斎場施設整備事業
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04175_01	市営墓地整備費

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04094_01	
事業名(行目名称)		環境調査費		環境調査事業			
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上		担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	悪臭・道路騒音等により被害を受ける市民			数値	118,521人	
	手段(どうやって)	各調査項目について調査・分析を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	悪臭・騒音等の調査を行い、現況を把握し、生活環境の保全を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	道路騒音調査委託料 1,226千円	
経費		1,400	1,573	1,573	1,043		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,400	1,573	1,573	1,043		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
道路交通騒音達成率			目標値	100	100	100	100
			実績	100	99.9	100	99.1
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
道路騒音調査については9月に委託業者が決定し、日程調整を行っている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
道路交通騒音の常時監視は法定受託事務であり、継続的な監視が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
騒音測定の結果、騒音に係る環境基準がほぼ達成されており、生活環境が損なわれていないことが確認できた。また騒音や悪臭の公害苦情に対して、騒音測定や悪臭分析により、効果的に指導を行った。生活環境の保全を図るため、継続して事業を実施する必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04094_02	
事業名(行目名称)		環境調査費	細事業名	水質監視事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	河川水質汚濁、事業場排出污水により被害を受ける市民		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	河川水、事業場排水の分析					
	目的(どんな状態にしたいのか)	河川水、事業場排水の水質把握を行い快適な水環境の保全を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	事業場排水分析手数料: 231千円 水質検査試薬代: 15千円	
経費		211	246	246	210		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
一般財源		211	246	246	210		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
排水基準達成率			目標値	100	100	100	100
			実績	100	100	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
河川調査は年に4回実施する予定であり、現在2回目までの調査が完了している。事業場排水については年度末に実施する予定のため、現在のところ課題等は発生していない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
河川水、事業場排水の水質把握を行い快適な水環境の保全を図る。現状のまま維持したい							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
新居浜市内の各河川、及び環境保全協定を結んでいる各事業場の排水調査を行い、すべての調査で基準を超過していないことが確認できた。快適な水環境の保全を図るため、継続して事業を実施する必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04094_03		
事業名(行目名称)		環境調査費	細事業名	大気監視事業				
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和				
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	大気汚染により被害を受ける市民		数値	118,521人			
	手段(どうやって)	耐用年数を超過している大気測定機の更新						
	目的(どんな状態にしたいのか)	大気汚染自動測定機の保守管理・更新整備を図り、欠測の少ないデータ収集・監視体制を確立する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	大気汚染自動測定機更新費: 3,000千円		
経費		2,783	2,800	2,800	2,343			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,783	2,800	2,800	2,343			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
大気汚染自動測定機更新数			目標値	0	2	1	1	1
			実績	0	2	1	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
今年度更新予定の機器は既に更新済みであり、問題なく稼働している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
大気汚染自動測定機の保守管理・更新整備を図り、欠測の少ないデータ収集・監視体制を確立するため、現状のまま維持したい。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
新居浜市の大気環境を常時監視し、大気汚染測定機を適切に保守したことで市民の健康な生活や大気環境の保全を図ることができた。大気環境の保全を図るため、継続して事業を実施する必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04138_01		
事業名(行目名称)		浄化槽設置整備事業	細事業名	浄化槽設置整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	公共下水道計画区域外市民	数値	30,359人			
	手段(どうやって)	昭和63年より合併処理浄化槽設置整備事業に取り組み、令和2年度末までに2,140基の浄化槽設置者に補助を行った。補助申込数の減少に対応するため、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促すため、単独浄化槽の撤去費補助について補助項目とした。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	公共下水道事業計画区域外においては、生活排水が水路・河川等に直接流されており、全国的にも都市部においては河川汚濁の原因となっている。したがって、この地域を対象に生活排水とし尿を併せて処理できる合併処理浄化槽の設置を推進し、公共下水道事業計画区域外での水洗化率を向上させ、河川等の汚濁の原因を公共下水道との両輪で根幹から改善していくことにより、長期総合計画にあるまちづくりを目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	負担金補助及び交付金 15,774千円	
経費		8,214	15,774	15,774	6,886		
財源	県・国支出金	3,833	7,361	7,361	3,213		
	地方債		0	0			
	その他	0	8,413	8,413	3,673		
	一般財源	4,381	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
浄化槽補助基数 合併処理浄化槽設置率(下水道除く)		目標値	55	55	45	40	0.525
		実績	37	24	11	20	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
コロナ過において資材調達が困難であり、申請そのものが伸び悩んでいる。今後においては更なる事業周知に努める必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
本市における水洗化率の向上が強く望まれており、河川等の水質改善に寄与するため、現状のまま維持する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
汲取りや単独処理浄化槽から小型合併処理浄化槽へ転換することで、生活排水全体の水質向上を図ることができた。今後も、国・県の動向を注視しながら、継続して事業を実施する必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04260_01		
事業名(行目名称)		猫不妊・去勢手術補助事業費	細事業名	猫不妊・去勢手術補助事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	飼い主のいない猫の望まれない繁殖を防ぎ、良好な生活環境の保持を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	750	750	305	飼い主のいない猫(オス) 5,000円 × 30頭 = 150千円 飼い主のいない猫(メス) 10,000円 × 60頭 = 600千円	
財源	県・国支出金	0	375	375	152		
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	375	375	153		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
不妊去勢手術実施頭数		目標値	0	0	90	90	90
		実績	0	0	16	31	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
当初の想定より利用者が少ない状況であるため、当事業の周知及び広報を行うとともに、市民にとって、より活用し易い制度に変えていく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
改善の必要があるものの、今年度開始の事業であるため、来年度については、同様の予算規模及び方法にて、事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
本市における猫の送致数や、野良猫のフン害等に係る苦情数減少を図るため、本事業を継続して実施する必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	07019_01			
事業名(行目名称)		休廃止鉱山鉱害防止対策費	細事業名	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金				
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和				
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	産業振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	住友金属鉱山(株)		数値	1			
	手段(どうやって)	国の「休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金(休廃止鉱山防止工事費)交付要綱」より、別子銅山のように鉱害防止義務者が存在する鉱山に対し、自然(他者)汚染分の坑廃水処理経費のうち3/4を国、残り1/4を地方公共団体(県1/8、市1/8)が補助することとなっている。新居浜市も「新居浜市休廃止鉱害防止等工事費補助金交付要綱」を設置し、昭和56年より住友金属鉱山(株)が実施する坑廃水処理事業(坑水路補修や坑水路維持垢掃除等)に要する費用の一部を国・県とともに補助している。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山から排出される坑廃水を適切に処理したのちに、放流することで鉱害を未然に防止する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		4,905	4,892	4,892	968	休廃止鉱山に係る鉱害及び危害を防止するための坑廃水処理経費に対する補助金 4,892千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	4,905	4,892	4,892	968			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
坑廃水を起因とする鉱害の発生数			目標値	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
別子銅山の坑廃水を未処理のまま放流した場合、広範囲にわたる土壌汚染、飲料水汚染、瀬戸内海の汚染等を招く恐れがあり、市民の安心で快適なまちづくりのためには継続的に実施していく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
廃止後の別子銅山に係る鉱害及び危害を防止するため、国・県とともに事業費の一部を継続して助成する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
住友金属鉱山(株)が実施する坑廃水処理事業に係る費用の一部を国・県とともに助成し、廃止された別子銅山に係る鉱害の防止及び安全な水環境の整備・汚染防止につながった。安心・快適なまちづくりのため、今後も事業を継続していく。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	00370_01		
事業名(行目名称)		墓園関連施設整備事業	細事業名	墓園関連施設整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	無縁墳墓	数値	35			
	手段(どうやって)	平尾墓園において、無縁となり放置されている墓所にある墓石等及び遺骨を無縁改葬した後に保管するための施設を整備する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	平尾墓園において、無縁となり放置されている墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	工事費 4,183千円	
経費		0	4,183	4,183	3,745		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	4,183	4,183	3,745		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
ストックヤード整備		目標値	0	0	0	1	0
		実績	0	0	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
II 事務事業の実施概要における事務事業対象、数値及びIV指標における成果指標名を新たに設定。第3四半期に工事契約予定である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和3年度に工事完了のため、事業を廃止する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	D: 事業の統合・休廃止を検討				
本事業によって墓石保管スペースが完成したことにより、無縁となり放置されている墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図ることができる。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04033_01	
事業名(行目名称)		斎場施設整備事業		細事業名 斎場施設整備事業			
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策 生活環境の保全と調和			
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課 環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	全市民			数値	118,521人	
	手段 (どうやって)	施設の延命化と利用者の利便性向上を図り、休止のない斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うため、施設や設備の修繕、更新等を計画的に実施する。					
	目的 (どんな状態にしたいのか)	利用者の希望にそった休止炉のない運営を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		145,977	135,431	320,121	160,792	斎場炉内外整備工事 1,000千円 斎場火葬炉大規模改修工事(継続費) 80,000千円 斎場屋上防水改修工事 46,431千円 待合棟設置備品購入費(テーブル・椅子等) 8,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	114,600	101,700	267,900	133,300		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	31,377	33,731	52,221	27,492		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
開場日に対する稼働日の割合			目標値	100	100	100	100
			実績	100	100	75	100
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
火葬炉全8炉更新が完了したことにより、安全かつ効率的な火葬の実施が可能となった。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
更新した火葬炉を万全の状態稼働させるには、令和4年度以降、更新した火葬炉のメンテナンス経費が必要となる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
火葬炉の更新は完了したが、今後火葬炉を万全の状態稼働させるには、令和4年度以降において火葬炉の計画的なメンテナンスが必要となる。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04175_01		
事業名(行目名称)		市営墓地整備費		市営墓地整備費				
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策				
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市営墓地利用者及び墓地を必要とする市民		数値	118,521人			
	手 段 (どうやって)	三墓地の返還墓所のうち、ニーズのあると見込まれるものについて順次整備し、再貸出ししていく。あわせて、再貸出しにより新たに生まれる使用料収入の範囲内において、三墓地の修繕等を行っていく。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	三墓地において、返還されたまま放置されている墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		4,169	7,500	7,500	1,458	消耗品費 100千円 施設修繕料 6,410千円 委託料 990千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	4,011	7,500	7,500	1,458			
一般財源		158	0	0	0			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
墓所使用料収入(千円)			目標値	7500	7500	3750	7500	7500
			実績	7518	4011	735	1470	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症拡大により、墓地の需要が低下していると思われ、お墓を建てたい等の問い合わせが減っている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
老朽化している施設の修繕等は継続的に必要なため、現状のまま維持する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
三墓地の返還墓所に対するニーズがあり、老朽化している施設の修繕等が必要であるため、計画通り事業を進めることが適当								